

心つないで

No. 4

発行

2011年4月4日
 東日本大震災
 ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉
 (ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

地震発生25日が経ちました。被災地の人々はまだまだ医・食・住に困難を抱えています。
 引き続き支援活動を強めていきます。

★ 20日間で116万8,060円の義援金が寄せられました！

○地震直後から開始した支援募金は、3月31日までに1,168,060円になりました(対策本部にとどけられたもの)。皆さんのご協力に厚く感謝申し上げます。

○3月26日の理事会で、これらの義援金は全て日本医療福祉生活協同組合連合会(本部:東京、全国の医療生協の連合会)を経て、東北で被災した6つの医療生協(松島・みやぎ県南・福島・福島中央市民・郡山・浜通り)へ届けることとし、4月1日に送金しました。募金活動は引き続き強力に取り組みます、ご協力をお願いします。

★ 避難所訪問などに取り組む、福島中央市民医療生協のみなさん

○福島市内で活動する、福島中央市民医療生協は、現在本来の事業所の業務は再開し、同時に周辺の避難所にスタッフが外向いて医療・介護・生活支援の活動を進めています。

○普段から私たちろっこう医療生協と交流のあるこの福島中央市民医療生協へ、これまでに3便にわたり医薬品などの支援物資を送りました。(こうべ保健サービスの協力もいただきました)引き続き必要な支援を続けます。

○3/26理事会では、見舞金を送ることとし、4/1に送金しました。



〈ジャンパー・マスク姿で打ち合わせする職員のみなさん〉

★ 応援医師・千葉誠先生ご奮闘！マスコミも注目！取材殺到



〈ベッドサイドでお世話をする千葉先生〉

○すでにお伝えしていますが、灘診療所に毎週末に応援診療に来ていただいている千葉誠先生は、現在も故郷の岩手と神戸を往復しながら、現地では被災した人々の医療支援を続けておられます。

○こうした千葉先生の活動に、報道関係も関心をもち、4/2には関西テレビ、朝日新聞などが灘診療所を訪れ千葉先生に取材しました。

○私たちは、今後千葉先生とご相談し、時期をみて千葉先生の診療所方面へ、長期的な支援を検討・実施したいと考えています。また、心ばかりのお見舞い金をお渡ししました。

★ 第二次現地支援 ★

4月8日～10日にかけて、第二次被災地として、村上理事長と大倉組合員活動支援担当の2人が東北・福島に行くことになりました